

令和 5 年度 まちづくり移動町長室 開催結果概要

二宮町手をつなぐ育成会

日 時：令和 6 年 1 月 23 日(火)13:30~14:40

場 所：二宮町役場 第一会議室

参加者：9 名

団体の活動概要について

参加者	手をつなぐ育成会は、知的障がい者とその家族が障がいの程度にかかわらず、各ライフステージに応じた適切な支援のもとで安心して暮らせることを願っており、共生社会の実現を求めて要望活動、啓発活動、余暇活動、本人活動、相談等を行う団体である。 また、二宮町の当会は、知的障がいに限らず、身体障がい、精神障がい者とその家族も所属している。
-----	--

2024 年度予算編成に対する要望について

参加者	知的障がい者の福祉事業所への通所に係る交通費は大きな負担となっている。現在は町より半額補助していただいているが、平塚市等近隣市は全額補助されており、大磯町も今年度より全額補助になった。 また、グループホームの家賃補助についても近隣市や大磯町は 1 万円を補助している。平塚市・大磯町と同程度の支援をしていただけるよう要望する。
町長	支援状況について調査したところ、市は全額補助している中、県西部を中心として町は半額補助が多かった。交通費全額補助・家賃補助 1 万円の導入も考えていきたいがすぐには決められない事案である。 なお、二宮町では障がい者福祉手当を独自に支給しているが、支給していない市町もある。 障がい者福祉手当の支給等の整合性もとりながら検討していきたい。
参加者	親がいなくなった場合、障害年金や福祉事業所の工賃ではグループホーム代や生活費が賅えなくなってしまう。自立できる環境を整備していただけるよう、県に要望していきたいと考えているが、まずは支援状況を市町で合わせるようお願いしたい。

個別避難計画・緊急時医療情報シートについて

参加者	障がいの等級が上がったことにより緊急時医療情報シートを作成した。軽度の知的障がい者の情報についても必要に応じて地区と共有してほしい。 また、先日開催された防災講演会で個別避難計画の話があった。個別避難計画作成の進捗状況はどうなっているか。
町長	個別避難計画の作成は始まったばかりである。まずは高齢者の方でかつ土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)にお住まいの方から作成しており、計画シートには避難経路等も記載する。作成には時間がかかるので、地域と一緒に作成していけると良いと考えている。
福祉保険課	緊急時医療情報シートの登録は、重度障がい者が対象となっているが、軽度障がい者も対象とするよう検討する。
防災安全課	個別避難計画の作成は、緊急時医療情報シートの作成が前提となる。 避難等優先度の高い方から、地域の方々のご協力をいただきながら順次作成を進めていく。

福祉事業所の雇用状況について

参加者	町内をはじめ福祉事業所では、職員がなかなか集まらないという話を聞く。他の事業と比較して待遇や給料に差があるのではないか。
町長	福祉事業の状況について確認する。
福祉保険課	福祉分野は全体的に現在人材不足となっている現状にある。このため、国による報酬改定により給与体系が見直されているところである。

情報発信の強化について

参加者	町では広報紙とホームページ、Facebook で主に情報発信しているが、障がい者のいる世帯に限らず情報を見つけづらいと感じている。他 SNS 導入等様々な手法で情報発信の強化を検討してほしい。
町長	令和 6 年度の秋頃から LINE を導入したいと考えているので活用してほしい。
地域政策課	このほか、『マチイロ』という広報紙を読めるアプリを導入すると町ホームページの更新情報などを簡単に把握できるので、ぜひ利用いただきたい。

成年後見制度等の周知について

参加者	子どもが大きくなってきた際、どのようにすれば資産を子どものために残せるかが悩みとなってくる。成年後見制度のほか、世代別の課題に対して相談や勉強ができる機会を作してほしい。
町長	成年後見制度等について、会全体・個別それぞれに対して説明することも可能なので相談してほしい。
福祉保険課	成年後見制度を中心とした勉強会について、会と講義内容や講師等を調整し開催を検討する。

教育と福祉の連携について

参加者	学校の特別支援学級の先生に子どものことを相談した際、福祉に関する対応先が分からないような案件があった。
町長	福祉部門と教育部門で連携する環境整備を進めるほか、まずは気軽に相談できコーディネートする体制を整えていきたい。
福祉保険課	福祉保険課と教育委員会で連携する機会を設けていく。